

事例4

単元

日米の習慣やマナーの違いを踏まえ、留学生にアドバイスする
(第2学年 全6時間)

英語の目標

「聞くこと」ウ

単元を通して育成を目指す資質・能力

聞いて把握した内容について適切に応じる力

学習評価のキーワード

「聞くこと」における「思考・判断・表現」の評価

※本事例では、令和2年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果より、「聞いて把握した内容について適切に応じる力」に課題が見られたことを踏まえて、「英語の目標」「単元を通して育成を目指す資質・能力」「学習評価のキーワード」を設定しています。

1 単元の目標と評価規準

(1) 目標

日米の習慣やマナーについて話された文章の必要な情報や要点などを捉えるとともに、その内容を踏まえた上で、来日予定の留学生に事実や自分の考え、意見などを書くことができる。

(2) 評価規準（「聞くこと」及び「書くこと」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 助動詞や動名詞の特徴やきまりを理解している。 助動詞や動名詞の特徴やきまりの理解を基に、日米の習慣やマナーについて話された内容を捉える技能を身に付けている。 来日予定の留学生に日米の習慣やマナーについて、事実や自分の考え、意見などを、簡単な語句や助動詞などの文を用いて書く技能を身に付けている。 	<p>日米の習慣やマナーについて話された文章の必要な情報や要点などを捉えるとともに、その内容を踏まえた上で、来日予定の留学生に事実や自分の考え、意見などを書いている。</p>	<p>日米の習慣やマナーについて話された文章の必要な情報や要点などを捉えるとともに、その内容を踏まえた上で、来日予定の留学生に事実や自分の考え、意見などを書こうとしている。</p>

※ここでは、「聞くこと」及び「書くこと」についての評価規準を示していますが、実際の指導に当たっては、他の領域の評価規準を設定することも考えられます。

2 指導と評価の計画（全6時間）

時間	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)	知	思	態	[評価方法]
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>①自己目標を設定する。</p> <p>②「アメリカでのホームステイ」に関する映像を見る。</p> <p>■捉える内容に応じた聞き方を理解し、その聞き方で教科書本文を聞く。</p> <p>③教科書 Part1 を聞き、聞き取れた内容についてペアで伝え合う。</p> <p>④捉える内容に応じた聞き方やメモの取り方について理解する。</p> <p>⑤④を踏まえ、メモを取りながら再度教科書本文を聞き、全体で内容の確認をする。</p> <p>⑥未習の語の意味や助動詞の構造と意味を理解する。</p> <p>⑦自分のことで、する必要のあることやしなくてもよいことをペアで伝え合う。</p> <p>⑧ペアで伝え合ったことを書く。</p>				<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容の聞き取りが十分ではない生徒に対しては、ピクチャー・カードを示す(言語活動等③)。

2	<p>■教科書本文を聞き、「自分がしなければならないことやしてはならないこと」について事実や自分の考え、意見などを書く。</p> <p>①メモを取りながら教科書 Part2 を聞き、聞き取れた内容についてペアで伝え合う。その際、前時で学んだ聞き方やメモの取り方を確認する。</p> <p>②聞き取りのポイントを確認した後、再度教科書本文を聞き、聞き手に求められていることについて全体で確認する。</p> <p>③未習の語の意味や助動詞の構造と意味を理解する。</p> <p>④「自分がしなければならないことやしてはならないこと」やそれに対する自分の考え、意見などについてペアで伝え合う。</p> <p>⑤ペアで伝え合ったことを書く。</p> <p>⑥ペアで読み合い、書いた英文を修正する。</p> <p>⑦⑥を全体で共有する。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の聞き取りが十分ではない生徒に対しては、ピクチャー・カードを示す(言語活動等①)。
3 本時	<p>■教師の話聞き、「自分の家のルール」について事実や自分の考え、意見などを書く。</p> <p>①メモを取りながら Teacher Talk を聞き、聞き取れた内容についてペアで伝え合う。</p> <p>②聞き取りのポイントを確認した後、再度 Teacher Talk を聞き、聞き手に求められていることについて全体で確認する。</p> <p>③「自分の家のルール」やそれに対する自分の考え、意見などについてペアで伝え合う。</p> <p>④ペアで伝え合ったことを書く。</p> <p>⑤ペアで読み合い、書いた英文を修正する。</p> <p>⑥⑤を全体で共有する。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の聞き取りが十分ではない生徒に対しては、リスニングの原稿を提示する(言語活動等①)。
4	<p>■教科書本文を聞き、登場人物の悩みや聞き手に求められていることを聞き取る。</p> <p>①メモを取りながら教科書 Part3 を聞き、聞き取れた内容についてペアで伝え合う。</p> <p>②教師とやり取りをした後、再度教科書本文を聞き、聞き手に求められていることを全体で確認する。</p> <p>③未習の語の意味や動名詞の構造と意味を理解する。</p> <p>④登場人物が聞き手にどのようなアドバイスを求めているか複数のペアで伝え合う。</p> <p>⑤④を全体で共有する。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“What should I do?” “What can I say?” などの表現に着目させ、登場人物が具体的にどのようなアドバイスを求めているのか考えるよう促す(言語活動等②)。

5	<p>■教科書本文を聞き、「登場人物の悩み」について自分の考えやアドバイスなどを書く。</p> <p>①教科書 Part3 を聞き、内容の確認をする。</p> <p>②前時 4 を踏まえ、登場人物にアドバイスを書く。</p> <p>③②で書いた英文を交換し、複数のペアで読み合う。加筆や修正が必要か意見交換する。</p> <p>④交換した意見を基に、②で書いた英文を修正する。</p> <p>⑤④を全体で共有する。</p>	<p>本時では、〔指導に生かす評価〕を行います。</p> <p>「努力を要する」状況 (c) の生徒への手立て (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストで点検する視点を提示し、生徒自身で語順やつづりなどの誤りに気付くよう促す (言語活動等③)。 			
6	<p>■アメリカから来日する予定の留学生のメッセージを聞き、日本の習慣やマナーについてアドバイスを書く。</p> <p>①メモを取りながら留学生のメッセージを聞く。</p> <p>②日本の習慣やマナーについて留学生にアドバイスを書く。</p> <p>③留学生へのアドバイスをペアで伝え合う。</p> <p>④留学生へのアドバイスを全体で共有する。</p> <p>⑤内容面と言語面から単元の学習を振り返る。</p>		○	○	<p>ここでは、〔記録に残す評価〕を行います。</p> <p>[パフォーマンステスト]</p>
後日	<p>ペーパーテスト (p. 10)</p> <p>(来日予定の留学生の話を読み、アドバイスを書く: 「聞くこと」に重点を置いた「聞くこと」と「書くこと」の領域統合型の評価問題)</p>		○		<p>[定期テスト]</p>

※第1時から第5時までは、〔記録に残す評価〕は行いませんが、毎時間のねらいに即して生徒の活動の状況を把握し、〔指導に生かす評価〕を行います。〔記録に残す評価〕は、第6時の「パフォーマンステスト」と後日の「定期テスト」において行います。

3 本時[第3時]

(1) 本時のねらい

教師の話聞き、「自分の家のルール」について事実や自分の考え、意見などを書く。

(2) 本時の展開

言語活動等	教師の指導のポイント
①メモを取りながら Teacher Talk を聞き、聞き取れた内容についてペアで伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてメモを取ったり情報を整理したりすることができるよう聞き取りのポイントを明らかにする（㊦p. 6 資料 2）。 ・内容の聞き取りが十分ではない生徒に対してはリスニングの原稿を渡し、聞き取れた箇所に印を付けるよう促す（㊦p. 7 資料 4）。
②聞き取りのポイントを確認した後、再度 Teacher Talk を聞き、聞き手に求められていることについて全体で確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒とやり取りしながら、聞き取れた内容を板書し、全体で確認する。
③「自分の家のルール」やそれに対する自分の考え、意見などについてペアで伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、参考となる生徒の表現や多く見られる誤りを取り上げ、全体で共有する。
④ペアで伝え合ったことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行い、表現内容の適切さ（内容面）と英語使用の正確さ（言語面）から生徒の学習状況を把握する。
⑤ペアで読み合い、書いた英文を修正する。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現内容の適切さ（内容面）と英語使用の正確さ（言語面）の視点から修正できるようチェックリストを提示する（㊦p. 8 資料 6）。
⑥⑤を全体で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを踏まえ、表現内容の適切さ（内容面）と英語使用の正確さ（言語面）の視点から全体にフィードバックを行う。

4 本事例における指導の工夫等

ここでは、本事例において「聞いて把握した内容について適切に応じる力」を身に付けさせるための指導の工夫等を紹介します。

(1) 指導の進め方

「聞いて把握した内容について適切に応じる力」を高めるためには、単元や単位時間の授業において、「聞いたことを基にして書く」言語活動を繰り返し設定し、継続して指導を行うことが大切です。そこで、以下のように指導を進めていきます（資料1）。

時間	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)
2	<p>■教科書本文を聞き、「自分がしなければならないことやしてはならないこと」について事実や自分の考え、意見などを書く。</p> <p>①メモを取りながら教科書 Part2 を聞き、聞き取れた内容についてペアで伝え合う。その際、前時で学んだ聞き方やメモの取り方を確認する。</p> <p>②聞き取りのポイントを確認した後、再度教科書本文を聞き、聞き手に求められていることについて全体で確認する。</p> <p>③未習の語の意味や助動詞の構造と意味を理解する。</p> <p>④「自分がしなければならないことやしてはならないこと」やそれに対する自分の考え、意見などについてペアで伝え合う。</p> <p>⑤ペアで伝え合ったことを書く。</p> <p>⑥ペアで読み合い、書いた英文を修正する。</p> <p>⑦⑥を全体で共有する。</p>
3	<p>■教師の話聞き、「自分の家のルール」について事実や自分の考え、意見などを書く。</p> <p>①メモを取りながら Teacher Talk を聞き、聞き取れた内容についてペアで伝え合う。</p> <p>②聞き取りのポイントを確認した後、再度 Teacher Talk を聞き、聞き手に求められていることについて全体で確認する。</p> <p>③「自分の家のルール」やそれに対する自分の考え、意見などについてペアで伝え合う。</p> <p>④ペアで伝え合ったことを書く。</p> <p>⑤ペアで読み合い、書いた英文を修正する。</p> <p>⑥⑤を全体で共有する。</p>
5	<p>■教科書本文を聞き、「登場人物の悩み」について自分の考えやアドバイスなどを書く。</p> <p>①教科書 Part3 を聞き、内容の確認をする。</p> <p>②前時④を踏まえ、登場人物にアドバイスを書く。</p> <p>③②で書いた英文を交換し、複数のペアで読み合う。加筆や修正が必要か意見交換する。</p> <p>④交換した意見を基に、②で書いた英文を修正する。</p> <p>⑤④を全体で共有する。</p>
後日	<p>ペーパーテスト (p.10)</p> <p>(来日予定の留学生の話聞き、アドバイスを書く: 「聞くこと」に重点をおいた「聞くこと」と「書くこと」の領域統合型の評価問題)</p>

単元における指導の進め方

単元終末の言語活動や後日のペーパーテストに向けて、毎時間繰り返し「聞いたことを基にして書く」領域統合型の言語活動を設定しています(緑の網掛け)。言語活動と指導を繰り返しながら、「聞いて把握した内容について適切に応じる力」を高めていきます。

単位時間の授業における指導の進め方

単位時間の授業においても、言語活動と指導を繰り返し、「聞いて把握した内容について適切に応じる力」を高めていきます(ピンクの枠囲み)。

「聞いて把握した内容について適切に応じる力」が身に付いたか確認するために、単元末や後日に、学んだことを再度活用する場面を設定します(青の網掛け)。

【資料1 指導の進め方】

(2) 表現につなげるための情報の把握と整理の工夫（「聞くこと」の指導）

聞いて把握した内容について適切に応じるためには、まずはコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて英語を聞き、必要な情報や要点などを的確に捉えることが大切です。そのため、「聞くこと」においては、目的に応じた聞き方を指導する必要があります。

① ワークシートの工夫

本時の言語活動等①「メモを取りながら Teacher Talk を聞き、聞き取れた内容についてペアで伝え合う」における聞き取りのワークシートを示します（資料2）。聞き取りの活動を行う際に、「何について話しているか【概要】」や「話し手が一番伝えたいことは何か【要点】」など、聞き取りのポイントを提示しましょう。聞く目的を明確にすることで、生徒がコミュニケーションを行う目的、場面、状況に応じて、「話の概要は何か」や「話の要点は何か」、「話し手が何を求めているのか」などを意識しながら聞き取ることができるようになります。

□メモを取りながら、聞き取りましょう。	
ポイント1 【概要】	何について話しているか。
ポイント2 【具体例】	Speaker がポイント1について、具体的な例として挙げていることは何か。
①	
②	
ポイント3 【要点】	Speaker が一番伝えたいことは何か。
()について知りたい。
ポイント4 【求められていること】	Speaker があなたに求めていることは何か。
()こと。

【資料2 聞き取りのワークシート（第3時）】

このようなワークシートがあれば、目的に応じた聞き取りができますね。
生徒に支援を行う際に、他に留意することはありますか？



単元の始めの段階では、資料2のようなワークシートを提示しますが、聞き取りの活動を繰り返し行う中で、生徒の学習状況を適切に見取り、教師の支援を調整していきましょう。最終的には、資料3のようなワークシートを提示し、生徒が自分の力で情報を把握、整理することができるようにしましょう。



□メモを取りながら、聞き取りましょう。

【概要】【要点】【求められていること】は何か。

--

【資料3 聞き取りのワークシート（第6時）】

② 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て

本時の言語活動等①「メモを取りながら Teacher Talk を聞き、聞き取れた内容についてペアで伝え合う」における「努力を要する」状況(c)の生徒へ配付したリスニングの原稿を示します(資料4)。リスニングの原稿を渡し、ワークシート(p.6資料2)の聞き取りのポイントに該当する箇所に印を付けるよう促します。その後、再度聞き取りを行い、内容を確認することで、聞き取りへの理解を更に深めていきます。

○聞き取りをしながら、次の4つに印をつけましょう。

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| ポイント1 | 何について話しているか ⇒四角で囲みましょう。 |
| ポイント2 | 具体的な例として挙げていることは何か ⇒下線を引きましょう。 |
| ポイント3 | Speaker が一番伝えたいことは何か ⇒二重線を引きましょう。 |
| ポイント4 | Speaker があなたに求めていることは何か ⇒点線を引きましょう。 |

【原稿】

Each family has some kinds of different house rules.
My family has house rules, too. Some of them are for my little children.
For example, ①they have to go to bed by 9:30.
②They can watch You-Tube, but they must not watch it from Monday to Friday.
They can watch it only on weekends.
Do you have your house rules, too? I want to know your house rules.
Please tell me.

※四角囲みや下線は生徒記入例

【資料4 リスニングの原稿】



聞き取れた箇所に印を付けるよう指導することで、生徒の理解度を的確に把握することもできます。また、その見取りを基に、活動の中で即時的に「**指導に生かす評価**」を行うことができます。

なるほど!さっそく実践してみます。



(3) 聞き取った内容を基に事実や自分の考えなどを書く工夫（「書くこと」の指導）

聞いて把握した内容について適切に応じるためには、相手の質問や依頼などに対し、どのような答がふさわしいか考え、そのことをコミュニケーションに支障のない英文で表現することが求められます。そのため、「書くこと」においては、表現内容の適切さ（内容面）と英語使用の正確さ（言語面）から指導する必要があります。

① 生徒同士でやり取りする場の設定

本時の言語活動等③「自分の家のルール」やそれに対する自分の考え、意見などについてペアで伝え合う」において、英文を書く前に生徒同士で意見をやり取りする場を設定します。生徒同士で書く内容についてやり取りすることで、相手の考えを聞いたり、相手からの質問に答えたりする中で、自分の考えを整理したり深めたりして、書く内容を明確にすることができます。また、英語でどのように表現すればよいか、どの言語材料を使えばよいか、その言語材料の特徴やきまりはどうなっているかなども互いに確認することができます。生徒同士のやり取りの一部（資料5）とやり取りの後に書いた生徒2の英文の一部（資料6）を以下に示します。

生徒1: Tell me your house rules.

生徒2: I wash my dishes in the morning.

生徒1: have to を使った方がいいんじゃない? 「～しなければいけない」という意味になるよ。

生徒2: そうだね。I have to wash my dishes every morning.

生徒1: Oh, you have to wash your dishes every morning?

生徒2: Yes. Because えっと…everyone 忙しいから in the morning.

生徒1: 忙しいは busy だよ。

生徒2: そうか, busy だった。Everyone is busy in the morning. How about you? I want to know your house rules.

【資料5 生徒同士のやり取りの一部】



I am going to tell you my house rules.
I have three house rules.
First, I have to wash my dishes every morning because everyone in my family is very busy. I have to do my own work.

【資料6 やり取りの後に書いた生徒2の英文の一部】

5 評価問題

単元の指導を通して、育成を目指す資質・能力が身に付いたのかテストを行う必要があります。ここでは、そのための評価問題と採点の基準の例を示します。



- (1) 後日のペーパーテスト（留学生の音声メッセージを聞き、アドバイスを書く：「聞くこと」に重点を置いた「聞くこと」と「書くこと」の領域統合型の評価問題）

定期テストにおいて、「聞いて把握した内容について適切に応じる力」を見取るために、「聞くこと」に重点を置いた領域統合型の評価問題を出題しています（資料9）。「思考・判断・表現」の評価問題です。

〔指示文〕

英語の授業で、来日予定の留学生のケイト(Kate)からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容をふまえて、あなたの返事を英語で簡潔に書きなさい。

Hi, I'm Kate. I'm looking forward to studying with you. I'm very interested in Japanese school life. I hear Japanese schools have many rules. What are they? Please tell me. I'm waiting for your answer. Thank you.

【資料9 評価問題】

① 採点の基準の例

1	校則について、十分理解できる英語（大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるものを含む）で解答しているもの 【正答例】 ・ We have to wear school uniforms. ・ I have to go to school by eight ten. ・ We have to wear white socks_ (ピリオドなし) ・ <u>w</u> e must not bring our cell <u>ph</u> ones to school. (大文字・小文字の書き分け)	2 点 (A)
2	校則について、おおむね理解できる英語（書き手の考えを伝える上で、大きな支障となる語や文法事項の誤りが無いもの）で解答しているもの 【準正答例】 ・ We have to <u>wearing</u> school uniforms. (動詞の活用形の誤り) ・ I have to go to <u>sckool</u> by eight ten. (つづりの誤り) ・ We must not bring our cell <u>phone</u> to school. (複数形の誤り)	1 点 (B)
3	ケイトが知りたいこと（校則）についての返事になっていないもの 【誤答例】 ・ I'm in the tennis club. (自分のことを書いている) ・ My school is in Saga. (返事の内容が不適切である)	0 点
4	書き手の考えを伝える上で、大きな支障となる語や文法事項等の誤りがあるため、伝えたい内容が理解できないもの	(C)
5	上記以外の解答	
6	無回答	